



たすける  
**援**  
富岡 勝則

皆さんこんにちは。

早いもので今年もあとわずかとなりました。これからの時期は寒さが一段と厳しくなりますので、風邪などひかれませぬようお気をつけください。

さて、市では、11月下旬に75歳以上の方で介護認定や支援サービスを受けていない約9,000人の方に「高齢者実態調査」というアンケートをお送りしました。これは、加齢による筋肉の衰えなどで閉じこもりがちになるなど、孤立傾向にある高齢者の方をいち早く把握して介護予防等の支援につなげていきたいとの思いから実施するものです。アンケートの項目は運動機能や栄養のほか日常生活に関するものなどですので、ぜひご協力をお願いします。ご回答いただいたアンケート結果をもとにして、今後、各種計画や介護予防事業、見守り体制などにも活用させていただきます。な

お、返信のない方については、地域包括支援センターの職員がご自宅へ連絡や訪問をする場合がありますのでご了承ください。

ところで、今年の7月から実施していました保健センターの耐震改修等工事ですが、無事に完了し、12月25日(火)から健康づくり課と子育て世代包括支援センターが業務を再開します。改修工事を終えた保健センターには、新たにエレベーターを設置したほか、照明のLED化やトイレの洋式化を行いました。また、職員に気軽に声をかけていただけるよう事務室の受付カウンターを約2倍に広げました。改修された保健センターは、より利用しやすくなりますので、お気軽に足をお運びください。そして、来年の2月からは、総合体育館の改修工事を行います。まず6月までの第1期工事でメインアリーナとサブアリーナにエアコンを設置するほか、トイレの洋式化を行います。また、10月から再来年7月までの第2期工事では、エレベーターの新設のほか、メインアリーナとサブアリーナの床材の全面張替えや照明のLED化、外壁の補修などを行う予定です。改修工事期間中は、総合体育館の利用が出来なくなりご不便をおかけしますが、リニューアル後は快適に利用できるようになりますので、ご理解とご協力をお願いします。

では、また。

## シリーズ “暮らしつづけたいまち” を目指して

問／政策企画課  
☎463-3089



### 安全・安心なまち

第5次朝霞市総合計画の将来像「私が暮らしつづけたいまち 朝霞」。「暮らしつづけたい」と思えるまちとなるよう定めた4つの基本概念（コンセプト）から市の取り組みをご紹介します。

安全・安心なまちとは、私が「日常生活において安全で安心して暮らしていける」と実感できるまちであるとともに、「災害時においては、みんなで助け合って乗り越えられる」と思えるまちです。

#### ～市民の声～（市民満足度アンケート、市政モニターの結果より）

- ・集中豪雨時に下水道の処理が間に合わず道路が冠水となった。
- ・私の住む地区は、水に対する心配が多々あります。大雨の時は浸水してしまいます。

#### ～市の取り組み～雨量計増設

近年、全国各地で大雨による浸水等の被害が発生しており、降雨状況や河川水位をいち早く把握し、被害を最小限に食い止めることが必要になっています。特に、局地的な集中豪雨（ゲリラ豪雨）は予測することが困難なため、市内の状況把握が重要になってきます。これまで、埼玉県が市役所内に設置した雨量計で降雨状況を把握していましたが、平成29年度に朝霞第七小学校、今年度はクリーンセンターに市が雨量計を設置しました。複数箇所で降雨量を把握することで、より迅速に避難指示等の情報を提供することができるようになりました。

また、大雨時の道路冠水などを防ぐため、増補管の布設や浸透貯留槽の設置などの雨水浸水対策を進めています。

市では今後も、市民の皆さんへ防災行政無線や市ホームページ、SNSを活用した迅速な情報伝達に努めるとともに、災害による被害をできるだけ少なくできるよう対策を進めていきます。

問／危機管理室  
☎463-1788



#### ひとの推移

人口 13万9,837人 (+15人)      男 7万0,596人 (+21人)      女 6万9,241人 (-6人)  
世帯数 6万5,145世帯 (+40世帯)      平成30年11月1日現在 ( ) 内は前月比